

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《井原の魅力発見》
- 2 単元名 『井原デニムについて調べよう』 (全24時間=実施時期:9月~11月、2月)
- 3 単元のねらい

井原市の施設、産業などにふれることを通して、井原市のよいところに気付いたりそれを調べたりすることで、井原市の特色や人々の思いや工夫について知る。「井原デニムについて調べよう」という課題から、解決に必要な情報を資料やインターネットで調べたり井原市で働く人々等と関わったりしながら収集し、比較・分類しながら情報を整理したり、目的や相手に応じて表現方法を工夫したりすることで、井原の魅力を伝えようとする能力と、ふるさと井原を大切にしている人々の思いにふれ、ふるさとを大切にしようとする資質を育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
<b>主な活動</b>		井原市のよいと思うところを出し合い疑問や関心をもとに課題を設定する。	出前授業を受けたり、実際に工場の様子を見学したりしたことをもとに、インターネットでさらに情報を収集する。	調べたことをもとに内容を整理する。	テーマごとにGoogleスライドにまとめ、発表する。
<b>引き出したい姿</b>	<b>いばら愛</b> <small>(郷土愛と当事者性)</small>				井原市のよいところを伝えようとする。
	<b>やり抜く力</b> <small>(忍耐と向上心)</small>		計画的に調べる活動を進めている。	伝える相手に合わせて、表現方法を工夫しながら整理する。	伝えたいことを伝えられるように練習をする。
	<b>まき込む力</b> <small>(発信と協働)</small>		自分の課題解決に向け、必要に応じてインタビューをする。		自分達が見つけた井原市のよさを、進んで3年生・5年生(または保護者)に伝えている。
<b>仕掛け・工夫</b>	<b>もの</b>	井原市の施設などの様子を見る。	パンフレットから情報を収集しておく。デニムを使ったワークショップを行い、実物に触れる。新1年生へ送るバッグの素材となる綿を栽培する。	それぞれの場所から知り得たことや考えたことを、グループごとにGoogleスライドにまとめる。	
	<b>ひと</b>	井原市で働く人々の思いを知る。		グループ間で共有したり新たな発見をしたりする。	自分達が見つけた井原市のよいところを3年生・5年生(または保護者)に伝える。
	<b>しごと(こと)</b>	井原市で働く人々の仕事について調べる。	タカヤ工場やおのはなご商店で働く人から話を聞く。	互いに聞き合い、アドバイスや協働作業を通して、よりよい発表になるよう整理していこうとする。	お世話になった方にお礼の手紙を書く。
<b>アウトプットの工夫</b>		調べたことをGoogleスライドにまとめ、授業で互いに発表し合ったり、参観日に保護者に向けて発表したりする。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

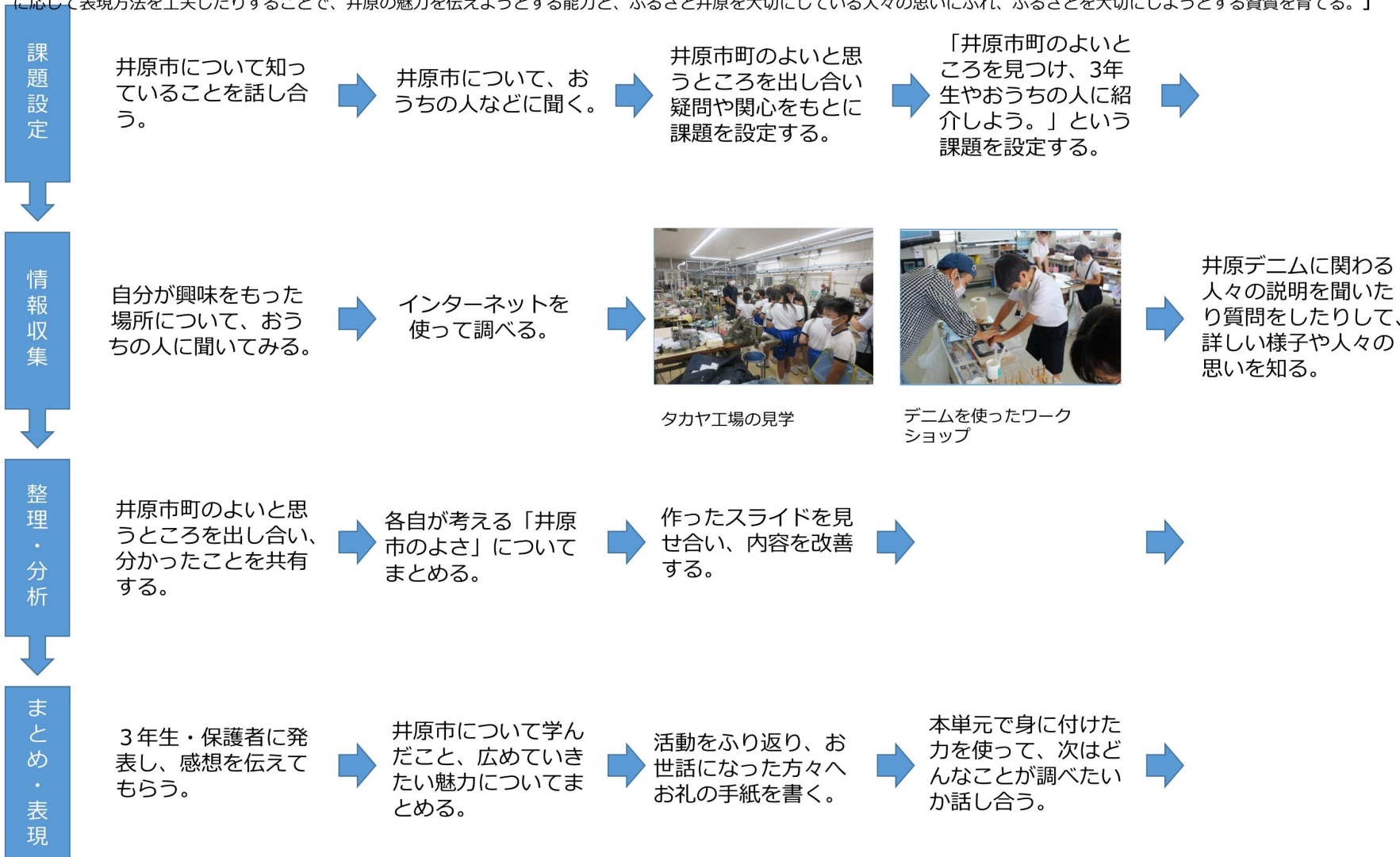
山の学習  
社会科「わたしたちの住んでいる県」 総合的な学習の時間「未来へ向かって」

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

「まとめ・表現」において、3年生や保護者などに発表を聞いてもらったり、質問や感想を受けたりする。

# 大江小学校・4年 単元名『井原デニムについて調べよう』の流れ（探究過程）と活動の実際 担当【落合千寿】

◆単元のねらい「井原市の施設、産業などにふれ、井原市のよいところに気付いたりそれを調べたりすることを通して、井原市の特色や人々の思い、工夫について知る。「井原デニムについて調べよう」という課題から、解決に必要な情報を資料やインターネットで調べたり、井原市で働く人々等と関わったりしながら収集し、比較・分類しながら情報を整理したり、目的や相手に応じて表現方法を工夫したりすることで、井原の魅力を伝えようとする能力と、ふるさと井原を大切にしている人々の思いにふれ、ふるさとを大切にしようとする資質を育てる。」



## ◆成果 (○) ・課題 (△) ・来年度に向けて (☆)

○様々な方面で協力をいただき、児童は進んで活動に取り組むことができた。今までに触れていた物、訪れたことがある場所の魅力を再発見することができた。  
 △コロナの状況下、単元を進めることが難しかったところもあった。  
 ☆単元計画の見直しが必要かどうか考える。